

大東市特定公民連携事業（公民連携教育）連携事業者候補の公募選定
プロポーザル審査会 議事要旨

◆日 時：令和4年12月14日（水）15時00分～16時30分

◆場 所：大東市役所南別館会議室＋オンライン開催

◆プロポーザル審査会委員： 6名

区分	所 属	氏 名	備考
公民連携事業に 関し識見を有す る者	大阪産業大学 経営学部 商学科 教授	藤岡 芳郎	
	稲清税理士法人 税理士	辰巳 八栄子	
	大阪公立大学 大学院 現代システム科学研究科 教授	吉田 敦彦	オンライン
	市 民	松井 由起子	
政策推進部長	政策推進部長	東 克宏	
審査の対象とな る特定公民連携 事業に関する部 等の長	学校教育政策部長	伊東敬太	

◆事務局 政策推進部 公民連携推進室

◆会議次第

- (1) 開会
- (2) 応募状況、審査基準について
- (3) 民間事業者によるプレゼンテーション
- (4) 質疑
- (5) 審査
- (6) 閉会

◆議事要旨

(1) 開会

事務局：会議の主旨を委員に報告

(2) 応募状況、審査基準

事務局：応募状況は、受付期間において、1社から応募があり、参加資格について、提出された書類を確認し、公募参加資格を満たしていたことを報告

事務局：審査は、各委員、一人 100 点満点の持ち点で採点していただくこと、
民間事業者が 20 分間でプレゼンテーションを実施し、その後、質疑の時間を 10 分設けていることを説明

(3) 民間事業者によるプレゼンテーション

民間事業者によるプレゼンテーションの実施

(4) 質疑

委員からの民間事業者に対しての質疑

対象者について

- ・どのような中学生を想定しているのか。また、ニーズはあるのか。
- ・どういう中学生を育てていくのか、具体的なイメージがあったほうがよい。
- ・学習に困難を抱えている中学生が対象なのか、それとも探求学習を積極的に学びたいという中学生が対象なのか。
- ・どのような中学生、保護者を対象としているのか。
- ・保護者のニーズはあるのか。
- ・このスクールに通う中学生の卒業後の進路はどう考えているのか。

収支計画について

- ・売上について、大東市への売り上げ依存度はどれくらいか。
- ・保護者負担について、月 2 万 5 千円となっているが、お弁当持参するとなると、それも保護者負担になるのではないか。
- ・スタートしてから、当面の間の収益は初期投資の費用に回すということか。

組織体制について

- ・株式会社として教育の分野に関わることについて。
- ・運営体制について。
- ・NPO や学校法人ではなく株式会社で公教育事業に関わることについての考えを。

その他

- ・開校の時期について。
- ・生徒の評価の仕方について、中間・期末テストのような定期テストで評価することは考えていないということでしょうか。
- ・成果指標に、通学している生徒の満足度や、卒業した生徒が振り返っての満足度も入れるとよいのではないかと。

(5) 審査

各委員が、評価行う。

(6) 閉会

以上